# 平成３０年３月期

# 第２四半期決算概要

平成29年11月9日

日本タングステン株式会社

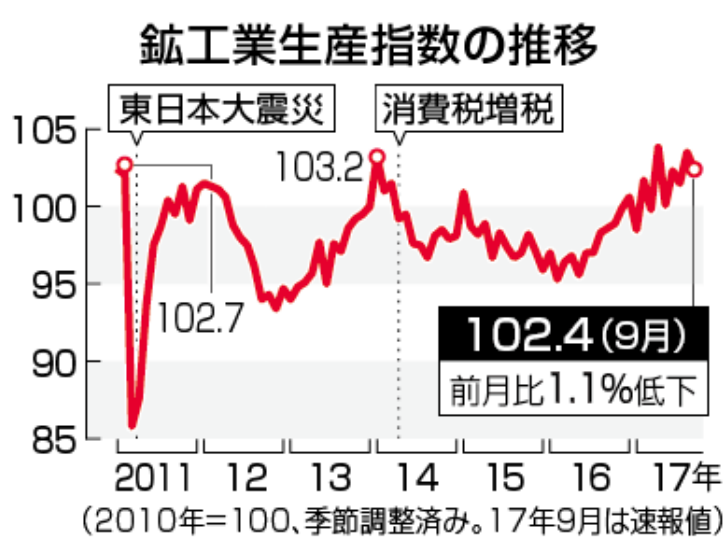
# ■業績サマリー

日本タングステン株式会社

## ■ 経済環境

国内では
- 企業の輸出及び雇用環境が改善
- 緩やかな回復基調で推移

海外では
- 地政学的リスクの高まり等、不透明感が続くものの
- 全体として緩やかに回復




(出典:時事ドットコム)

# ■当社グループの業績等

日本タングステン株式会社

## ●損益の状況

（単位：百万円）

| 連結業績 | 平成29年３月期<br>第２四半期 | 平成30年３月期<br>第２四半期 | 対前年同四半期比<br>増減額（増減率） |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 4,850 | 5,326 | 475 （9.8%） |
| 営業利益 | 225 | 337 | 111 （49.6%） |
| 経常利益 | 192 | 490 | 297 （154.5%） |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 98 | 371 | 273 （278.8%） |

【売上高】

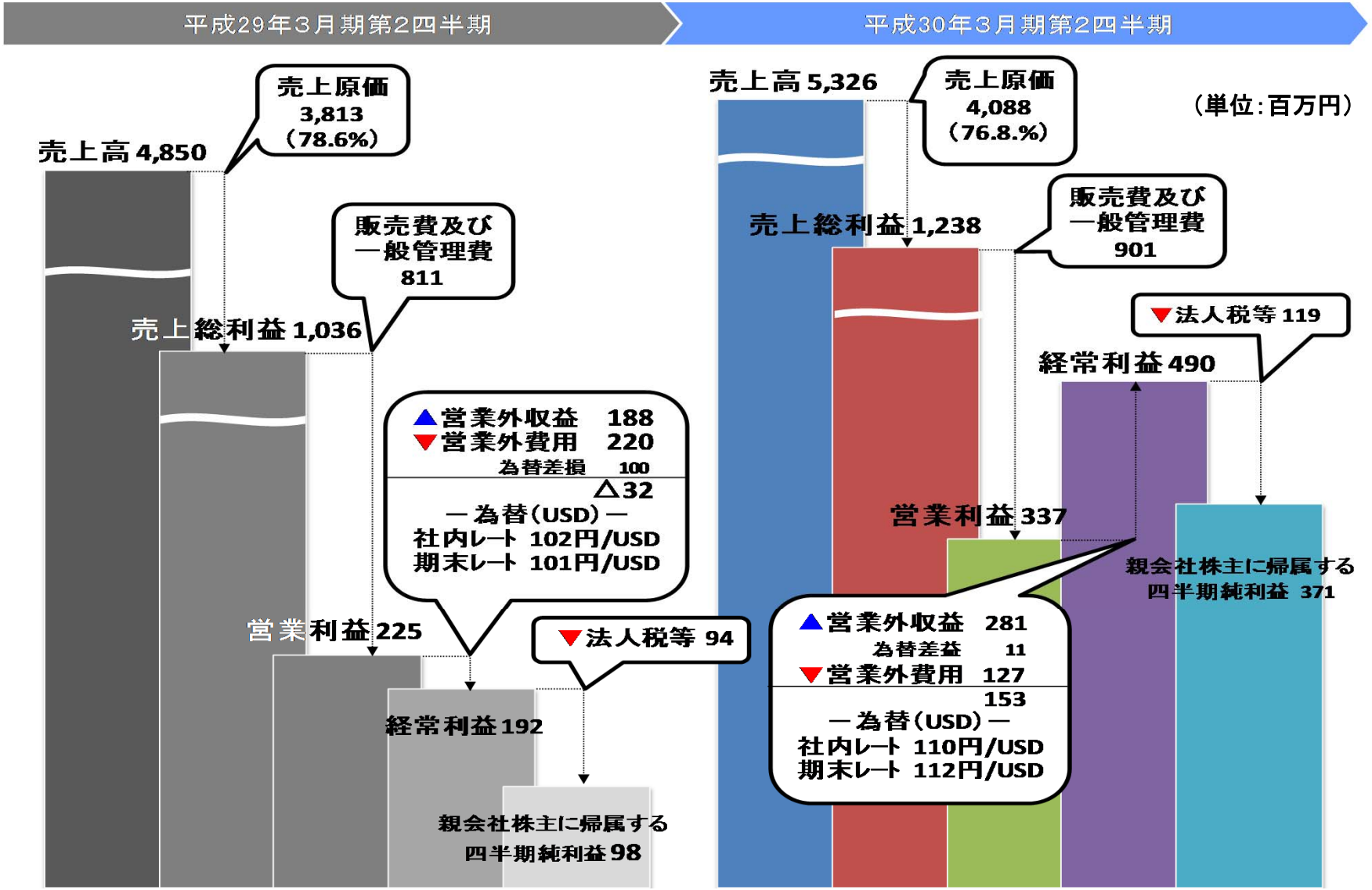
衛生用品関連のＮＴダイカッター及び自動車関連の接点製品が低調に推移したものの、情報機器関連のハードディスクドライブ（ＨＤＤ）用磁気ヘッド基板が需要回復により増収となり、電子部品関連の金型製品及び電極製品も好調に推移したことから増収となった。

【損　益】

売上高の増加要因に加え、生産効率の改善、為替差損の発生がなかったこと等により各利益とも増益となった。

# ■損益の概況（連結）

日本タングステン株式会社



# ■事業部別売上高の状況

日本タングステン株式会社

## 平成30年３月期第２四半期　セグメント別売上高

### 機械部品事業

2,921
55%

超硬合金
製品

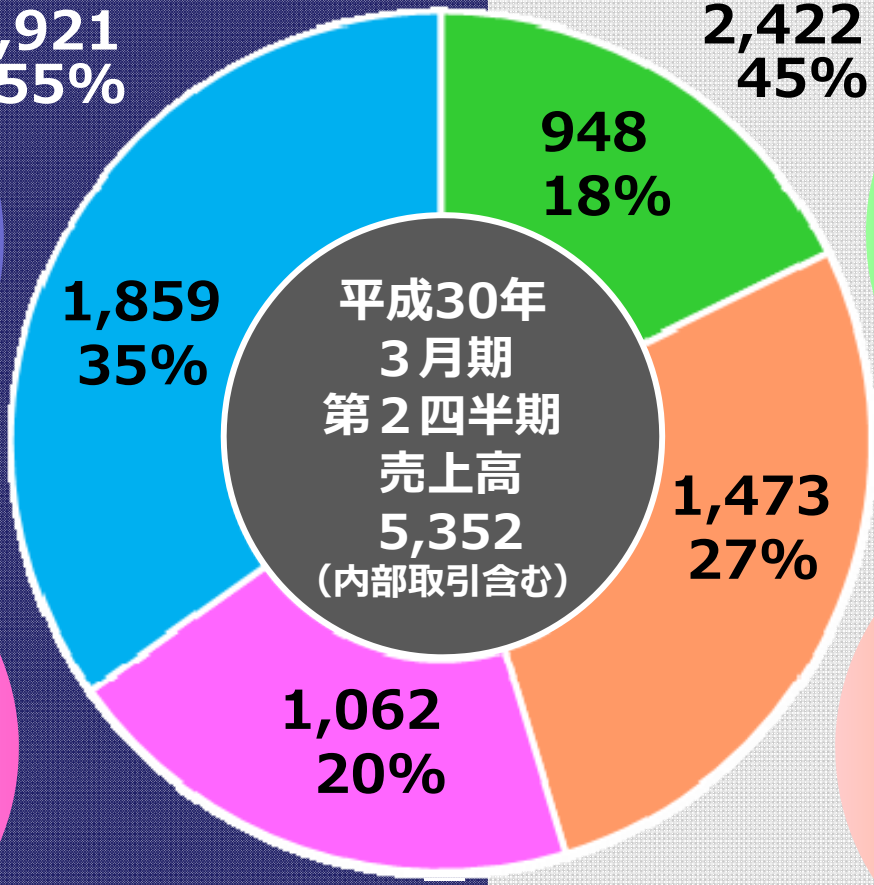
セラミック
製品

### 電機部品事業

2,422
45%

金属材料
製品

電気･電子
材料製品




単位：百万円

# ■事業部別主要製品の状況

日本タングステン株式会社

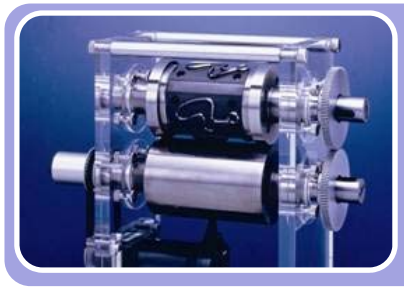
## 機械部品事業

### 情報機器関連のハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板

HDDの需要回復により増収 ▲

### 装置関連

電子部品や半導体などの製造装置が国内向けで増収 ▲



### 衛生用品関連のNTダイカッター

海外は微減も、国内が設備投資の一服感から減収 ▼

| | 平成29年3月期<br>第2四半期 | 平成30年3月期<br>第2四半期 | 対前年四半期比 |
|---|---|---|---|
| 売上高 （百万円） | 2，581 | 2，921 | 340 （13.2%） |
| 営業利益 （百万円） | 276 | 410 | 134 （48.6%） |

# ■事業部別主要製品の状況

日本タングステン株式会社

## 電機部品事業

### 電子部品関連の電極製品

国内、海外ともに好調で増収 ▲

### 自動車関連の接点製品

EV用接点が在庫調整により減収 ▼

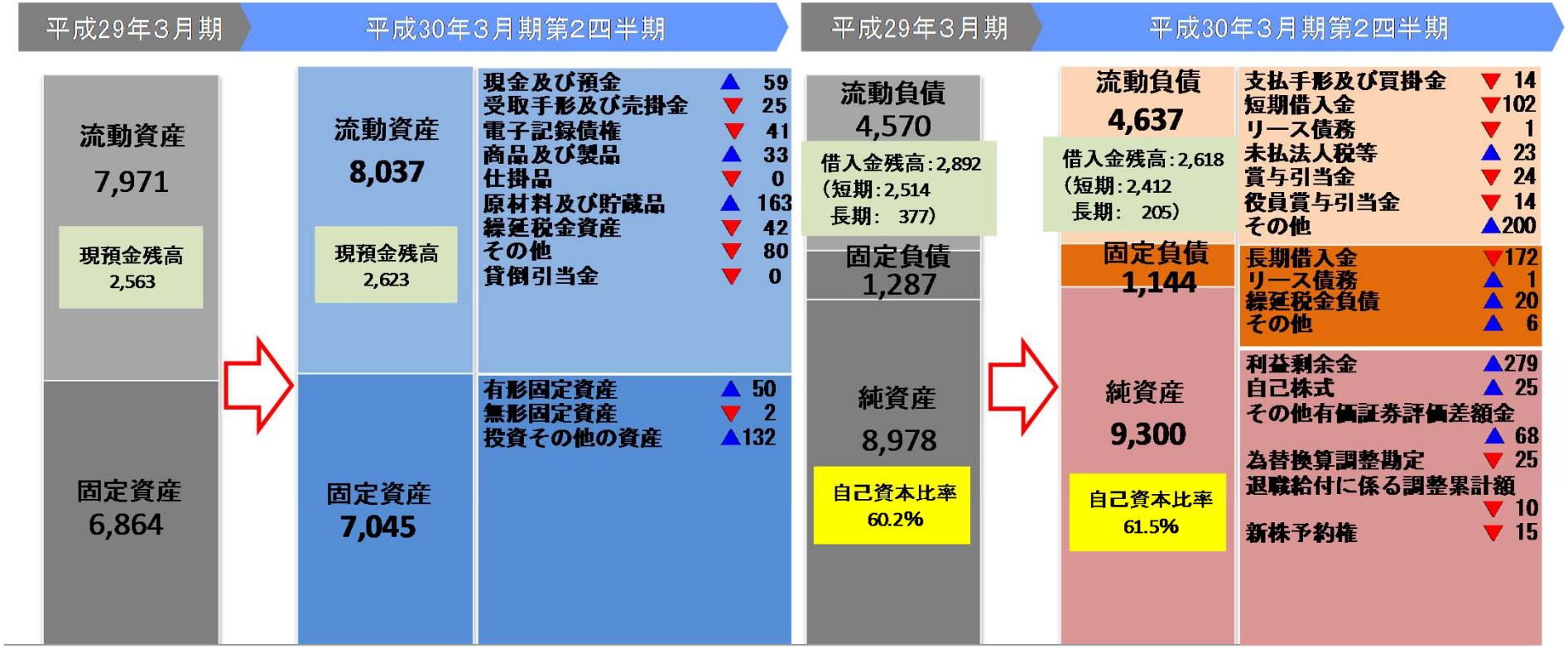
| | 平成29年3月期<br>第2四半期 | 平成30年3月期<br>第2四半期 | 対前年四半期比 |
|---|---|---|---|
| 売上高 （百万円） | 2，286 | 2，422 | 136 （6.0%） |
| 営業利益 （百万円） | 136 | 154 | 18 （13.4%） |

# ■財務の状況（連結）

日本タングステン株式会社

（単位：百万円）

| 科目 | 平成29年<br>3月期 | 平成30年3月期<br>第2四半期 | 前連結<br>会計年度末比 |
|---|---|---|---|
| 総資産 | 14，836 | 15，082 | 245 |
| 負　債 | 5，858 | 5，781 | △76 |
| 純資産 | 8，978 | 9，300 | 322 |

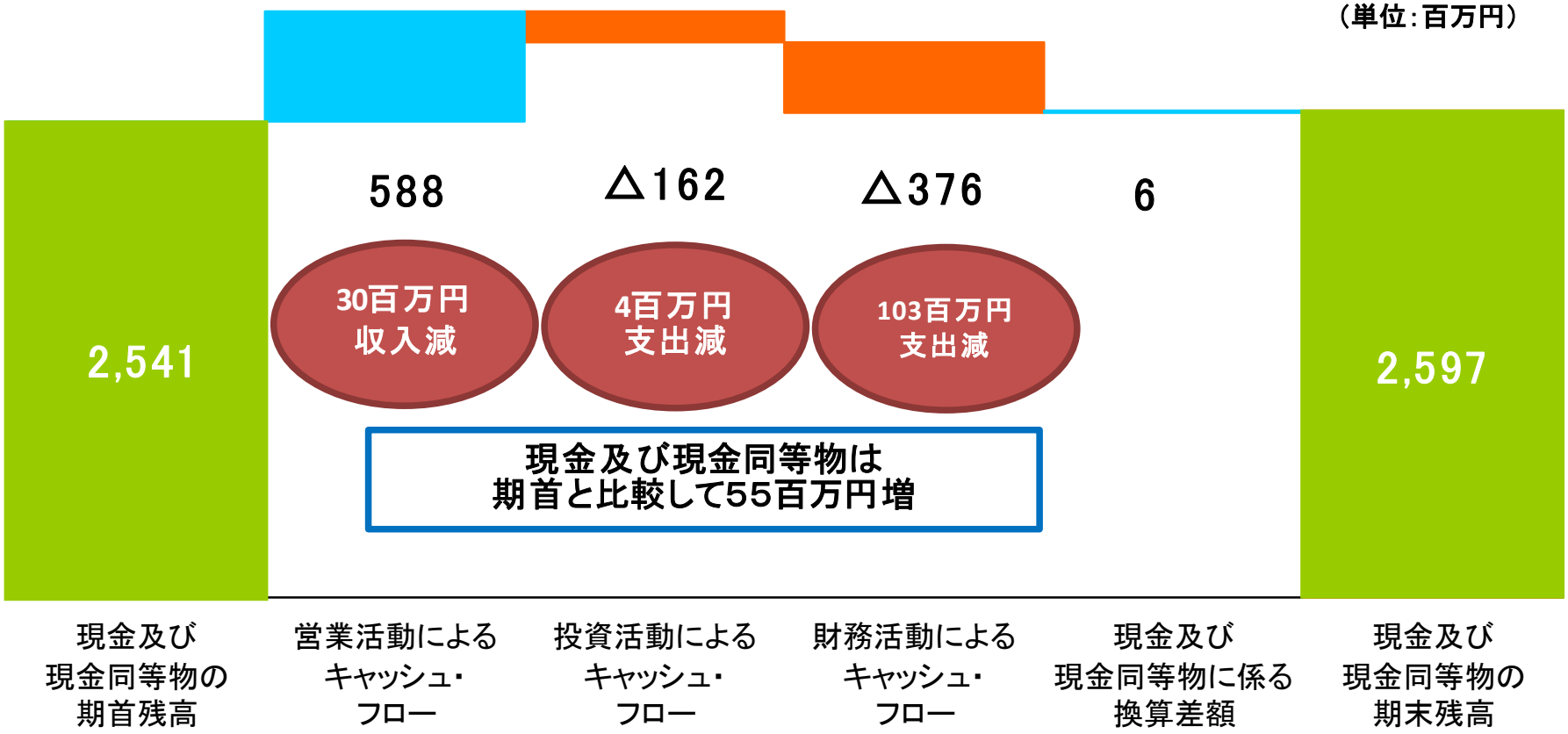


# ■キャッシュ・フローの状況（連結）

日本タングステン株式会社

平成30年３月期第2四半期

（単位：百万円）




※増減は前年同四半期比

# ■通期の業績予想

日本タングステン株式会社

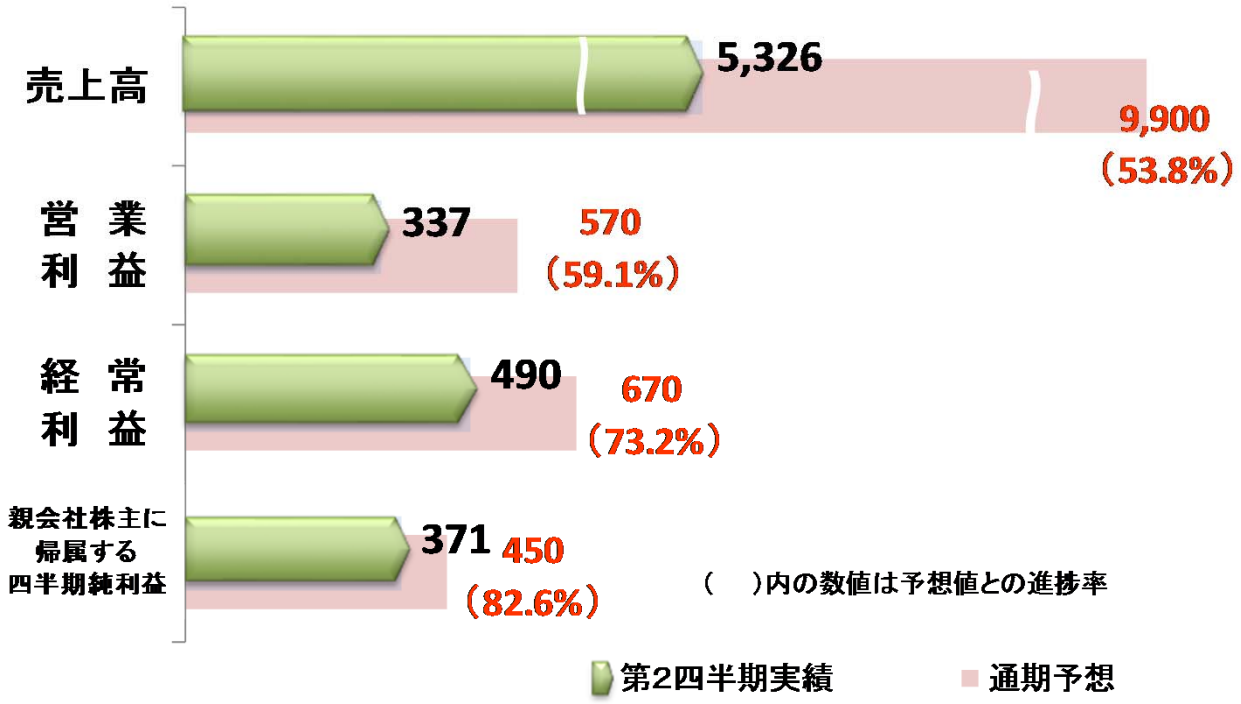
**【通期の業績予想】**

下期は衛生用品関連のNTダイカッターが需要回復を見込むものの、上期好調であった情報機器関連のHDD用磁気ヘッド基板がSSD（ソリッドステートドライブ）の切り替えにより、また、照明関連のタングステンワイヤー製品がLED化の進展により低調に推移すると予想され、現時点では上期の業績に比べ下期は弱含む見通し。

このため、現時点で平成29年5月11日に公表した通期の連結業績予想及び個別業績予想に変更はない。

## 連結業績予想数値と進捗率

（単位：百万円）



# ■配当金

日本タングステン株式会社

## ■　中間配当金は3.0円（予想より1円増配）

□ 中間配当金　　3円総額　72百万円
　期末配当金　30円総額　72百万円（見込）
　　（年間 145百万円）

※期末配当金は株式併合後の金額で記載

中間配当金は、上期業績が好調に推移したこともあり、当初予想の1株当たり2円から**1円増配の1株当たり3円**とした。

配当総額は72百万円、効力発生日は平成29年12月7日を予定。

なお、期末の配当金は、30円（株式併合後の金額で記載）、配当総額72百万円を見込む。

| | 平成28年度実績 | 平成29年度予想 | 平成29年度上期 |
|---|---|---|---|
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 百万円 469 | 百万円 450 | 百万円 371 |
| 1株当たり当期純利益 | 円 19 銭 50 | 円 18 銭 71 | 円 15 銭 42 |
| 中間配当金 | 円 2 銭 00 | 円 2 銭 00 | 円 3 銭 00 |
| 中間配当性向（連結） | | | 19.5% |
| 期末配当金 | 円 3 銭 50 | 円 30 銭 00 | 予想値 円 30 銭 00 |
| 配当性向（連結） | 28.2% | 26.7% | 予想値 32.2% |

※　H29年度の期末配当金は株式併合後の金額で記載

# ■ご注意

日本タングステン株式会社

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。